

「学力(知・徳・体) 日本一」を目指します

富士見中学校 モットー「自立・協働・貢献」

【目指す学校像】

- 「ありがとう」が溢れ、潤いと勢いのある学校
- 「わかる」「できるようになる」授業を行い、生徒一人一人を伸ばす学校
- きれいな学校
- 自信を持たせ大切な存在だという誇りを育てる学校
- 生徒の主体的な活動を大切にする学校
- 家庭・地域社会との連携を深める学校
- 幼稚園、小学校、高等学校との連携を深める学校

学校教育目標

「知・徳・体」のバランスのとれた
日本一の富士見中生

【目指す教職員像】

- 高い授業力、高い生徒指導力を持った教職員
- 生徒の手本(モデル)となる教職員
- 健康で明るく、不祥事を起こさない教職員
- 報告・連絡・相談・見届け(確認)を行い、情報を共有し、組織として課題を解決できる教職員
- 指導内容・指導方法の共有と伝承のできる教職員
- 他の喜びを自分の喜びとできる教職員
- 「ありがとう」の溢れる教職員

《目指す生徒像》

「本気」で学ぶ生徒（知）

- 新熊谷プロジェクトを実践する
- 学習内容を明確にした授業を実践する
- 主体的・対話的で深い学びが行える授業をする

「本気」で磨く生徒（徳）

- 学級経営を充実させ、豊かな心を育む
- 自分の思いや考えを、思いやりのある言葉で表現させる
- 道徳教育を充実させる
- いじめ撲滅宣言を実行する

「本気」で鍛える生徒（体）

- できなかったことができるようになる体育授業の実践
- 新体力テストを年2回実施し、各個人の課題種目の克服を実現する
- HQC(ヘルス・クオリティ・コントロールシート)を活用し、生活習慣の確立をめざす

重点
目標

努力
点

- 「ねらい」を明確にした授業実践100%
- 県学調学力レベル向上100%
- 英語「ラウンドシステム」の考え方を全学年、全教科で実施
- くまなびスクール24回、高校生による個別指導4回

- 道徳科の時間・実生活における子どもの心の見える化の取組 100%
- 「熊谷の子どもたちは、これができます!『4つの実践』と『3減運動』」の定着90%と『スマホ使い方宣言』の定着100%
- いじめアンケートを実施し、即、職員全員で対応
- 保護者アンケートの実施 年3回
- さわやか方針会議の実施(毎週)

- 新体力テスト県平均以上88%以上(日本一)
- HQCシート(ヘルス・クオリティ・コントロールシート) 100%
- う歯治療率 100%

【学校研究課題】

『自ら進んで考え、学び合い、共に高め合う生徒の育成』

